

## 令和2年度 千葉県高等学校アーチェリー3年生代替大会 実施要項

- 1 目的 新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、開催が中止となった全国高等学校総合体育大会の代替大会及び、3年生が部活動の成果を発揮できる場とする。
- 2 主催 千葉県アーチェリー協会
- 3 後援 千葉県教育委員会 千葉県高等学校体育連盟

### 4 参加資格

- 1) 千葉県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、在学する学校長の承認を必要とする。
- 2) 年齢は、平成14年4月2日以降に生まれたものとする。
- 3) チーム編成について、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。ただし同一校に全日制過程と三部制定時制過程が併置され、日常的に全・定合同による部活動として位置づけられる活動をしている場合は、特例として県内大会に限り混成を認めることがある。
- 4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし一家転住等やむを得ない場合は、千葉県アーチェリー協会会長の許可があればこの限りではない。
- 5) 統廃合の対象となる学校では、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- 6) 大会参加資格の特例  
ア、上記(1)に定める生徒以外で、2)～4)の大会参加資格を満たし、且つ、千葉県アーチェリー協会会長が認めた生徒について大会参加を認める。

#### [大会参加資格の別途に定める規定]

1. 学校教育法第72条、115条、124、134条の学校に在学し、千葉県アーチェリー協会会長に参加を認められた生徒であること。

2. 以下の条件を具備すること。

##### ①大会参加を認める条件

- ア、(公財)全国高等学校体育連盟及び千葉県高等学校体育連盟、千葉県アーチェリー協会の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- イ、参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校による混成は認めない。
- ウ、各学校にあっては、部活動が教育の一環として日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校と比べて著しく均等を失っていない、運営が適切であること。

##### ②大会参加に際し守るべき条件

- ア、大会要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項に従うと共に、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ、大会参加に際しては、責任ある教員が引率すると共に、万一の事故に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ウ、大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
- エ、70mを安全に行射可能な選手  
(公認競技会50m・30mRで男女ともに500点以上の選手または70mRで450点以上、レストアップ、レストダウン、セツアップの角度が打ち上げている等危険行射が無い。大き目のを外す事が無い等。)

### 7) 大会参加の制限

#### [外国人留学生の出場枠について]

- (ア) 学校教育法第1条に規定する高等学校卒業を目的としている生徒であること。
- (イ) 在籍校が、各都県高等学校体育連盟に加盟していること。
- (ウ) 年齢は、4月1日現在、19歳未満のものとする。
- (エ) 短期留学生は除く
- (オ) 人数は、団体戦についてチーム1名までとする。

5 開催期日 令和2年8月4日(火)～8月7日(金)

4日(火) 予選ラウンド 72射(公認)  
5日(水) 予備日  
6日(木) ミックス戦トーナメント・団体トーナメント1, 2回戦  
7日(金) 個人トーナメント・団体トーナメント準決勝・決勝

第1日目・・・8月4日(火)

会場準備 8:30～ 8:50  
選手受付 <女子>8:50～ 9:00 <男子>12:20～12:30  
開会式 <女子>9:10～ 9:15 <男子>12:40～12:45

女子団体戦・個人戦予選

70m 9:30～10:40 70m(2回目) 10:50～11:50

男子団体戦・個人戦予選

70m(1回目) 13:00～14:30 70m(2回目) 14:40～16:00

第2日目・・・8月6日(木)

会場準備 8:30～ 8:50  
選手受付 <男子>8:50～ 9:00 <女子>12:00～12:10

○男子個人戦決勝トーナメント

1回戦1/16 9:10～ 9:50

準々決勝戦 10:00～10:30

準決勝戦 10:40～11:10

3位決定戦/決勝戦 11:20～11:50

○女子個人決勝トーナメント

1回戦1/8 12:30～13:10

準々決勝戦 13:20～13:50

準決勝戦 14:00～14:30

3位決定戦/決勝戦 14:40～15:10

3日目・・・8月7日(金)

会場準備 8:30～ 8:50  
選手受付 8:50～ 9:00

○男女団体決勝トーナメント

男子準々決勝戦 9:10～ 9:50

男女準決勝戦 10:00～10:30

男女3位決勝戦 10:40～11:10

男子決勝戦 11:20～11:50

女子決勝戦 12:00～12:30

○ミックス戦トーナメント

準々決勝戦 13:20～13:50

準決勝戦 14:00～14:30

3位決定戦 14:40～15:10

決勝戦 15:20～15:50

閉会式(表彰式) 16:10～16:30

6 会場 千葉英和高等学校 アーチェリー場 (TEL047-484-5141)  
〒276-0028 八千代市村上709-1

- 7 競技種目
- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1. 男子競技   | 個人戦 / 団体戦 |
| 2. 女子競技   | 個人戦 / 団体戦 |
| 3. ミックス競技 | ミックス戦     |

## 8 競技内容および方法

### A) 競技内容

- 1) 標的競技とし、予選は距離70mによるランキング・ラウンド、決勝トーナメントは距離70mによるチャンピオンシップ・ラウンド（マッチ戦）とする。
- 2) 団体戦と個人戦を同時に実施し、団体戦は男女ともに各校1チーム（5名）とする。  
ただし、3年生が5名以上いる場合は、2チーム以上の編成を認める。  
（例 A高校 3年男子7名→2チーム可 / B高校 3年男子12名→3チーム可）  
また、1チーム（最低3名）が組めない学校については、男女混合での男子チームとしての参加を認める。
- 3) 団体戦予選の成績は、チーム上位3人の合計得点の総計、個人戦予選の成績は、個人の合計得点により順位を決定する。なお、決勝トーナメント出場にかかわる同点については、シュートオフ（個人戦は40秒1射、団体戦は3選手が同時に40秒1射）により順位を決定する。
- 4) 団体戦出場の各選手の個人成績は、個人戦の成績を兼ねる。
- 5) その他、(公社)全日本アーチェリー連盟の競技規則に準ずる。

### B) 競技方法

#### 1) 団体戦・個人戦予選ラウンド

- ア、距離70mにおいて、36射×2回のラウンドを行う。
- イ、男女ともに、1標的2名の行射で1立制（AB）とし、4分6射毎に採点・矢取りを行う。
- ウ、行射の順序は、AB/矢取りを繰り返す。
- エ、競技開始前に4分の練習を2回設ける。
- オ、団体戦の予選通過チームは男女とも上位16チーム、個人戦の予選通過者は男子32名、女子28名とする。
- カ、予選における用具破損等で審判へコールする時は、シューティングライン上より一步後退し挙手して審判員に知らせ、審判員の判断を仰ぐ。

#### 2) 団体戦決勝ラウンド（セットシステム）

- ア、トーナメントの組み合わせは、競技規則の定めるところによる。
- イ、1標的に1チームとし、チーム毎に1名の競技者のみがシューティングライン上に立ち行射を行い交替する。
- ウ、団体戦の1回戦から3位決定戦までは、1セット2分6射（2射×3名）の同時行射4セットマッチとする。団体戦のセットのポイントは、勝者2ポイント・引き分け1ポイント・敗者0ポイントとし、累計5ポイント以上先取したチームを勝者とする。4セット終了時点で同ポイントの場合、各チーム3射（1人1射計1分以内）のシュートオフを1回行う。同点の場合は、中心に最も近い矢のチームを勝者とする。シュートオフの勝者は1ポイントを得る。
- エ、団体戦の優勝決定戦は3射×2回の交互行射で行う。チームは3射（1名1射×3名）後、相手チームと行射を交代する。
- オ、競技（1回戦の）開始前に2分の練習を2回設ける。
- カ、用具破損等によるロスタイムは認めない。
- キ、団体戦決勝ラウンドにおける選手交代は、セット毎に交替することができる。

#### 3) 個人戦決勝ラウンド（セットシステム）

- ア、トーナメントの組み合わせは、競技規則の定めるところによる。
- イ、全ての対戦は3射5セットマッチとし、セット毎の勝ち・負け・引き分けに与えられるポイントの合計により対戦の勝者が決定される。個人戦のセットのポイントは、勝者2ポイント・引き分け1ポイント・敗者0ポイントとし、累計6ポイント以上先取した競技者を勝者とする。  
5セット終了時点で同ポイントの場合、1射（20秒以内）のシュートオフを行う。1射目の矢が両競技者とも10点の場合、タイとみなし、マッチを決着するために2射目のシュートオフを行う。同点の場合は、的の中心に近い矢により決定する。これでも順位が決まらない場合、中心に最も近い矢による1射のシュートオフを決定するまで続ける。シュートオフの勝者は1ポイントを得る。

- ウ、1～3回戦は1標的2名、準決勝以降は1標的1名とする。
- エ、1～4回戦、3位決定戦は2分の同時行射とし、決勝戦については、1射20秒以内の交互行射とする。交互行射では予選ラウンド上位選手が第1セットの行射順序を決定する。以降のセットは累計ポイントの低い選手が先に行射し、同点の場合は第一セット先攻のチームが先に行射する。
- オ、競技（1回戦の）開始前に2分間の練習を2回設ける。
- カ、用具破損等によるロスタイムは認めない。

#### 4) ミックス戦は、オリンピックラウンド

- ア、ミックス戦は各校の代表選手（男女各1名）で1チームを編成し、3チームまで参加を認める。
- イ、トーナメントの組み合わせは、競技規則の定めるところによる。
- ウ、1標的に1チームとし、チーム毎に1名の競技者のみがシューティングライン上に立ち行射を行い交替する。
- エ、1セット80秒4射（2射×2名）の同時行射4セットマッチとする。ミックス戦のセットのポイントは、勝者2ポイント・引き分け1ポイント・敗者0ポイントとし、累計5ポイント以上先取したチームを勝者とする。4セット終了時点で同ポイントの場合、各チーム2射（1人1射計40秒以内）のシュートオフを1回行う。同点の場合は、中心に最も近い矢のチームを勝者とする。シュートオフの勝者は1ポイントを得る。
- オ、競技（1回戦の）開始前に2分間の練習を2回設ける。
- カ、用具破損等によるロスタイムは認めない。

#### 5) 得点記録の方法

- ア、予選においては、当該標的を使用する選手の相互看的方式とし、競技終了後に確認を経て確定記録とする。
- イ、決勝においては、審判員による得点記録方式とし、得点又はポイントが表示された時点で確定記録とする。

#### 6) 競技中の服装

- ア、全国高体連アーチェリー専門部の服装規定に準ずる。
- イ、防水衣、防寒衣は、正式なユニフォームを着用した上で着用する。

#### 9 引率・監督

- 1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手すべての行動に対し、責任を負うものとする。
- 2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。
- 3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

#### 10 参加費

- 団体戦 1チームにつき 2,000円
- 個人戦 1名につき 500円（70mR）
- \*大会当日に納入すること。

#### 11 競技規定

2018～2019年度（社）全日本アーチェリー連盟競技規則及び大会運営規定による。

#### 12 その他

別に定める新型コロナウイルス感染拡大防止対策に従うこと  
また、全日本アーチェリー連盟主催競技会の再開に向けた感染拡大防止ガイドラインに則り開催する。

13 申し込み

- 1) 期 日：令和2年7月31日（金）（期日厳守でお願いします）  
別紙、参加申込書（様式1）のコピーを下記の申込み先にファックスで送付してください。  
参加申込書原本は当日8：30迄に大会本部に提出して下さい。
- 2) 申込先：〒275-0025 千葉県習志野市秋津5-9-1  
県立津田沼高等学校 荒木 秀彦（専門部プログラム担当）  
TEL：047（451）1177 FAX：047（454）3242  
mail：huskygirl@hotmail.co.jp

14 問合せ先

千葉県立生浜高等学校 勝 啓雄  
千葉市中央区塩田町372  
電話 043-266-4591 FAX 043-264-8636

## 感染拡大防止ガイドライン

政府の発表・開催地の状況により対応と防止策は異なることを前提とする。

### 1. 基本的な考え方

- (1) 競技会等の実施にあたっては、厚生労働省の発表する新型コロナウイルス感染症対策の基本対処方針、専門家会議提言等に基づき、開催地の都道府県の方針に従う。
- (2) 参加者（選手・監督・コーチ・大会役員・競技役員等）の健康と安全を最優先して考え、感染拡大防止について最大限の対応をとる。

### 2. 開催の決定

- (1) 開催については、開催地、使用する施設等と十分に打合せを行い、感染リスクへの対応を確認し、原則 1 ヶ月前には開催の可否を決定する。対応策が整わない場合は中止または延期する。
- (2) 開催決定後も、随時情報収集し、開催の可否を確認する。
- (3) 再度、緊急事態宣言が発令される、または開催地が警戒都道府県に指定された場合等には、都道府県知事からの自粛要請等に基づき、慎重に対応検討し、対応策が整わない場合は中止または延期する。

### 3. 参加募集（要項発表）時の対応

- (1) 参加募集に際し、参加者に感染拡大防止のために参加者が順守すべき事項を明確にし、要項に記載する。順守事項を守れない参加者については、参加の取り消し、または途中退場を命じることがあり得ることを明示する。
- (2) 参加者に求める感染拡大防止のための措置を明示する。内容は下記の通りとする。
  - ① すべての参加者は「**健康チェックシート**」（別紙）を提出すること。
  - ② 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加の見合わせを求めること。
    - ・ 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
    - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
  - ③ マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）。
  - ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
  - ⑤ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ 1m 以上）を確保すること（障害者の誘導や介助を行う場合を除く）。
  - ⑥ 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
  - ⑦ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
  - ⑧ 技終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

### (3) 基本的に無観客試合とする。

来場者は、選手、競技役員、大会役員、補助員と事前に申請登録した監督・コーチおよび各校関係者のみに限定する。

### 4. 競技会時の対応

#### (1) 会場準備

会場全般を通じて、参加者同士が密接な状態にならないようは措置を講じる。

- ① オープンスペースの会場では、入口を限定するようにして、参加者の入場確認をできるようにする。
- ② 入口に消毒液を置き、入場時には必ず手指の消毒をする。
- ③ 競技場は、レーン幅や選手間の間隔を確保し、密にならないような対策を講じる。
- ④ シューティングライン上で 1 人当たり 1m の間隔を確保できるように、会場の環境や安全を考えて標的配置を決定する。
- ⑤ 選手テント、役員テントとも、椅子やテーブルの数量と設置場所を指定し、待機中の選手間の間隔を確保する。

#### (2) 受付

受付については、通常の場合よりも時間が掛かることを想定し、十分な時間を確保する。

- ① 受付に消毒剤を設置する。
- ② 参加者が距離を置いて並ぶように協力を依頼する。
- ③ 受付の担当者は、マスクとゴム手袋を着用する。
- ④ 参加者が次の点について該当がないかの確認をする。

確認内容は下記の通りとする。

ア 平熱を超える発熱（おおむね平熱より 1 度以上高い場合）

イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状

ウ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）

エ 嗅覚や味覚の異常

オ 体が重く感じる、疲れやすい等

⑤ 参加者がマスクを準備していることを確認する。

⑥ 配布物（プログラム・競技者番号・スコアカード等）は事前に個人別に分けて袋に入れて、テーブルに並べ、参加者に自分で取ってもらい、手渡しはしない。

### (3) 用具検査

① 用具検査の担当審判員は、マスクとゴム手袋を着用する。

② 参加者が距離を置いて並べるように、目印などの設置を行う。

③ 検査については、用具の手渡しは行わず、選手に用具を指定場所に置いてもらい、審判員が手に取って検査し、終了後、指定場所に戻す。

④ 適宜、計測機器や検査員の手袋を殺菌消毒し、清潔を心掛ける。

### (4) 開会式・閉会式・表彰式

① 参加者が整列しての式典は行わず、参加者はそれぞれ控えテント内で待機し、放送によって行う。

② 表彰式は成績発表のみとし、入賞者への賞状・賞品の授与は終了後、受付にて配布する。

### (5) 競技中

① 選手、監督・コーチ、競技役員、メディア関係者等は、適切な距離を意識し、安全な距離を確保するように努め、放送等で適宜注意喚起する。

② 選手は、行射中以外、極力マスクの着用を求める。

③ 監督・コーチ、競技役員、メディア関係者等については、常時マスクの着用を求める。

④ 採点中も、選手同士が適切な距離を確保するように意識し、安全な距離を確保するように努め、放送等で適宜注意喚起する。

⑤ 競技中のスコアカード・集計端末の管理は選手が行う。スコアカードを挟むバインダーは共有せず、1 人 1 枚ずつ採点相手のものを競技終了まで管理する。

⑥ 審判員が矢の判定で呼ばれたときは、選手を標的から遠ざけて、安全な距離を確保する。

### (6) 競技終了

① スコアカードの提出は、審判員への手渡しは行わず、記録席付近に専用の回収ボックスを用意し、選手が確認して提出する。

### (7) その他

① 参加者に感染防止のために主催者が決めた措置や指示に従うに求める。

② 競技会終了後、2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告する。

③ 競技会終了後の帰路などについても、三密を避ける等、感染防止に努めるよう注意喚起する。